

文 葛西得男

text by Tokuo Kasai

「保育」の原点

真

面目な人間と少し不良っぽい人間。どちらが人間的に面白いのか？そんな馬鹿なことを考えてしまうことがあります。

私が言っているのは善人と悪人の比較ではないのです。そりゃあ、真面目な人間が良いのに決まっていますが、不良というのは悪人ではなくて少し型破りで一般人に収まりきれない、自由奔放で自由に生きている人だと考えてみます。

やはり少し不良と言われる人のほうが人間味があり、面白いと思うことがあります。そういう意味で、私の古くからの知人で不良の匂いがプンプンする人がいます。不良上等・ロツクな画家、黒田征太郎氏のことです。

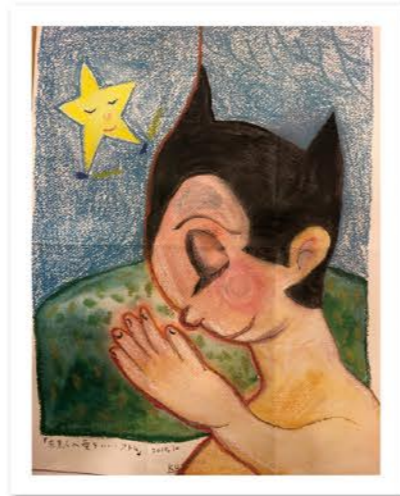
自由人とは彼のことを言うのに違い無いです。80歳近くになっても未だ男の色気があり、瑞々しい、いつまでも子供の心を持っていて純粹で、まるで少年

のようです。

このような生き方をしている80歳は見ることが無いのですが、私もそんな彼の生き方に感銘を受けている一人です。黒田氏は現在、九州は門司にアトリエを構えています。その前は上海、その前はニューヨークというように世界中を旅している画家です。

彼が最後に選んだテーマは「手塚治虫氏」でした。昭和23年頃、大阪の松屋町の路上の筵の上に並べられていた『新宝島』という漫画本が手塚治虫氏との出会いだっただけです。

その頃には大阪のアメリカ村の壁画を描いて有名になるなど思いもしなかったでしょう。1983年に彼が描いた「PEACE ON EARTH」は今もなお大阪心斎橋アメリカ村の代表的モニュメントとして残る有名な壁画です。



「黒田征太郎氏のアトムの絵」

10月、心斎橋BIGSTEPで「僕は手塚治虫になりたかった」というタイトルの黒田征太郎展が開催され、私の父と手塚先生とは親友であったために我々もこのプロジェクトに参加させて貰うことになりました。

黒田氏は、「アトムはロボットですが非常に人間らしい。今、現代人が失いつつある『いきもの』のころがある」と言っておられます。黒田氏が描かれた「アトム」はなぜか「あたたかい」。まるで生まれたばかりのアトムの赤ちゃんのように思えます。

今年、大阪市東心斎橋に松稲会マザーシップの研修センターが建設されますが、その壁に黒田氏にアトムの壁画を描いて頂こうと計画しています。

「子供をいのる」が手塚治虫氏が私の父が話した言葉で一番感動され、その言葉を胸に抱いて日本全国の子供たちに講演

Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。1972年、追手門学院大学卒業後、米国ポストンカレッジに留学。1975年に帰国後、アプリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松稲会 理事長に就任。松稲会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アプリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。アプリカ葛西 副社長時代に国連UNEP環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。



子どもたちに心を、お年寄りに環境を



マザーシップが大切にすること

マザーシップでは、保育園がお子さんの成長にとって最もふさわしい生活の場であるよう、3つのことを大切にします。

1.大切にします

質の高い保育環境の整備とあたたかいかわり

2.大切にします

保育のパートナーとしての保護者の皆さんとの協働

3.大切にします

地域社会のさまざまな人々との出会いや社会資源の活用



松稲会は、子どもたちとお年寄りにやさしい社会をつくるため、高齢者介護施設アプリケアとマザーシップ保育園を運営しています。

社会福祉法人 松稲会

〒558-0021 大阪市住吉区浅香1丁目8番38号  
TEL: 06-6696-1177 (代)  
FAX: 06-6696-1273  
E-MAIL: info@apricare.com http://www.apricare.com

マザーシップ船場保育園

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2-1-9 船場メディカルビル2F  
TEL: 06-4964-0717  
FAX: 06-4964-0710

- マザーシップ船場東保育園 ●マザーシップ新梅田保育園
- マザーシップ西宮北口保育園 ●マザーシップ保育園森の家